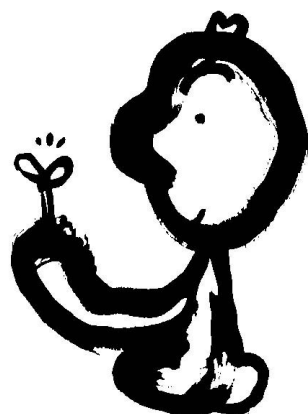


認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2021 年度事業報告書



2022(令和4)年6月

総括

2021年度もまだコロナ禍にあった。市民活動全般においても、活動が困難な状態が続いており、寄付・募金活動は引き続き寄付が集まらず苦戦が続いている

ただ、助成審査会は、初の全面オンラインで公開による審査会を実施し、公開投票もオンライン上で実施、7団体に助成をすることができた。特別賞、黒田裕子賞も贈呈した。また遅れていた市民活動応援サイト「つなごう神戸」のリニューアルも完了した。さらに、今年度からKIITO:300 関連の事業への関りを始めた。現在の当基金でできる範囲は小さく、大きなファンドのように社会的インパクトのある事業はできないが、これらの活動を通じて、微弱ながら市民活動の活性化に寄与することができた。今後はアフターコロナを見据えて、新事業を検討し、財政状況を好転させる必要がある。

成果と課題

①助成事業

基金助成はオンライン審査会を通じて例年どおり助成ができたが、はあ〜とふるふぁんなどは兵庫県遊技業組合の決定により中止となり、来年度以降も未定。コロナ禍でクラウドファンディングによる個々の寄付集めが浸透していく中、20年以上同じ形で継続してきた当基金助成事業の見直しについては今年度も持ち越しとなったままだが、休眠預金による助成を検討始めている。

②寄付・募金事業

あいウォークは実行委員として、オンラインとオフラインとのハイブリッド型で実施することができた。それ以外はコロナ禍でイベントもできず、新しい寄付システムにも取り組めず厳しい状況にあり、現状維持はしたが、大きな成果といえることはなく引き続き課題である。また今年度も遺贈寄付獲得に向けた活動を強化していく必要がある。

③中間支援事業

神戸市の助成によりコロナ禍で困窮する子育て世帯への食料配布事業を、神戸フリースクールとともに実施した。またつなごう神戸ではサイトのリニューアルを完了した。今年度から始動した KIITO : 300 事業はコロナの影響もあり、まだまだ立ち上げ途上の状態である。

④運営管理

5月下旬から週2日のみ新しいスタッフを迎え、少し充足できたが、事務所など環境整備は不安定なままで、来年度の大きな課題になると思われる。

目次

総括	2
目次	3
1 助成事業	
ア) しみん基金・こうべ助成事業	
①2021 年度助成事業	4
②2021 年度しみん基金・KOBE 特別賞	6
③2021 年度黒田裕子賞	6
④2020 年度助成事業成果報告会	6
イ) はあ〜とふるふぁんど支援事業	6
2 寄付・募金活動	
ア) 寄付金・募金受入	8
イ) イベント募金	9
①こうべ・あいウォーク 2022	
ウ) 協働企画型寄付システム	9
①古着チャリティ事業	
②寄付つき商品（有馬ソルトクッキー、耐震補強パワープレート）	
③Yahoo ネット募金	
④学術書チャリティ	
⑤モノキフ	
⑥その他	
エ) 遺贈寄付	10
3 中間支援事業	
ア) 「つなごう神戸」運営事業	11
イ) 食を通じたつながり支援事業	11
ウ) KIITO:300 社会貢献事業	12
エ) 広報・情報発信	12
オ) NPO 支援活動	12
カ) 防災啓発イベント事業	13
4 運営管理	
ア) 会議	14
イ) 管理棟	14
ウ) 運営上の重要事項	15

1 助成事業

ア)しみん基金・こうべ助成事業

①2021 年度助成事業

1)助成の趣旨

しみん基金・こうべの助成事業は、地域を愛する多くの市民・企業等が自発的に寄付という形で資金を提供し合う形で基金を形成し、それらを市民社会組織に対して開かれた自律的なルールで助成することで、阪神・淡路大震災で体感した支え合い・助け合いの大切さを、公共を行政だけに頼ることなく自律かつ自立した市民一人ひとりによる共助・互助をベースとした草の根市民活動を促進し、真の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的としています。

2)応募対象者

1. 阪神淡路大震災被災 10 市 10 町を原則に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体
4. 正味財産が 2,000 万円以下の団体

3)助成金額

2021 年度助成事業は、助成総額 250 万円を助成しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災や熊本地震など大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。 助成総額は 200 万円までを予定。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 25 万円 を上限とする。 助成総額は 50 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

4)助成事業の内容

1. 2021 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
2. 助成対象期間：2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日まで。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先した。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）※交際費は

対象外。

5. 申請受付期間；2021年7月19日（月）～2021年8月31日（火）
個別相談団体数：7件
申請受付団体数：20団体（一般枠：18団体、特定枠：2団体）

5) 書類選考 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：2020年9月15日（水）17:30～19:30
場 所：オンライン
形 式：理事会にて審議
選考結果：12団体（一般枠；10団体、特定枠；2団体）

6) ヒアリング調査 書類選考された14団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、以下の通りヒアリング調査を実施した。

期 間：2020年10月1日（金）～10月9日（土）
形 式：当基金理事による訪問（もしくはオンライン）、ヒアリング調査報告書の作成

7) 公開審査会 書類選考された14団体のプレゼンテーションによる公開審査会を、以下の通り開催した。

なお今年度は、コロナ禍のため審査会を全面オンラインとした。

開催日時：2020年10月26日（火）13:00～17:00
会 場：オンライン
出席審査員（順不同・敬称略）：

山田 剛司（審査員長）、森崎 清登、相川 康子、鶯本 郁、藤本 真里、
本荘 雄一、高田 佳代子

8) 助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の7団体（一般枠；5団体、特定枠；2団体）の各事業に合計2,500,000円（一般枠；2,000,000円、特定枠；500,000円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	全国ギャンブル依存症家族の会兵庫	ギャンブル依存症問題に取り組む支援者学習会
	2	(特活) ガジュマルの船	摂食障害・依存症の当事者から～それぞれの回復へ～
	3	定住外国人子ども奨学金実行委員会	兵庫県下在住の経済的困難を抱える外国ルーツの高校生の支援事業
	4	(一社) デフサポートかもめ	「聾・啞史に触れる」プロジェクトとウェビナーの導入
	5	(一社) Bokk Jambaar	Africare (アフリケア) 事業
特定枠	T1	神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti	台風19号の被災地宮城県伊具郡丸森町における支援活動
	T2	被災地に学ぶ会	コロナ禍における被災地と大学生ボランティアのネットワーク形成

9) 覚書締結・助成金交付

上記各団体とオンラインにて、2020年11月4日（木）に助成金交付に関する覚書を読み合わせ、郵送にて締結した。また、11月22日（月）に、各団体に対して助成金を交付した。

10) 助成先団体活動レポート

例年、助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄付者や市民に知ってもらうため、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信しているが、今年度もコロナ禍のためオンラインも含め、5団体訪問した。

- ・4/17 淡路島アートセンター
- ・7/16 がん患者グループゆずりは
- ・7/28 ガジュマルの船
- ・9/11 インターナショナルセワソサエティ
- ・3/17 被災地に学ぶ会

②2021年度しみん基金・KOBE特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。

公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は**ボランティアグループでいんぷる**に決定し、2021年12月8日の成果報告会時に贈呈した。

③2021年度・第5回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年1回表彰するもので、2017年度より創設されました。

9月理事会の審議の結果、第5回の受賞者は**阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター**に送ることに決定し、上記の審査会にて贈呈した。

④2020年度助成先事業成果報告会

2020年度助成事業（助成対象期間：2020年10月1日～2021年9月30日）について、10月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会をコロナ禍のため、時間を短縮し下記の通り実施しました。

- ・開催日時：2021年12月8日（水）14:00～16:00
- ・開催場所：KIITO:300 ファーム
- ・発表団体：（特活） ガジュマルの船、がん患者グループゆずりは、（特活）淡路島アートセンター、インターナショナル セワ ソサエティ、（特活） そらしど 被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」

※復興支援ボランティア白樺隊は、コロナ禍により事業を遂行できず、助成金を返還されました。

イ)はあ〜とふるふぁんど支援(ボランティアあしすと部門)事業(受託事業)

21世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋）

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成14年度より毎年受託しています。

- ・主催：はあ〜とふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている5名以上で構成される団体。

・支援金額 全体の活動費の4分の3相当で、最高100万円。

① 2021年度事業

・4/7 予備審査会

※ 4/28に兵遊協理事会が2021年度事業は中止と決定した。

② 2022年度事業

兵遊協理事会の決定により、実施が見送られた。

2 寄付・募金活動

ア) 寄付金・募金受入

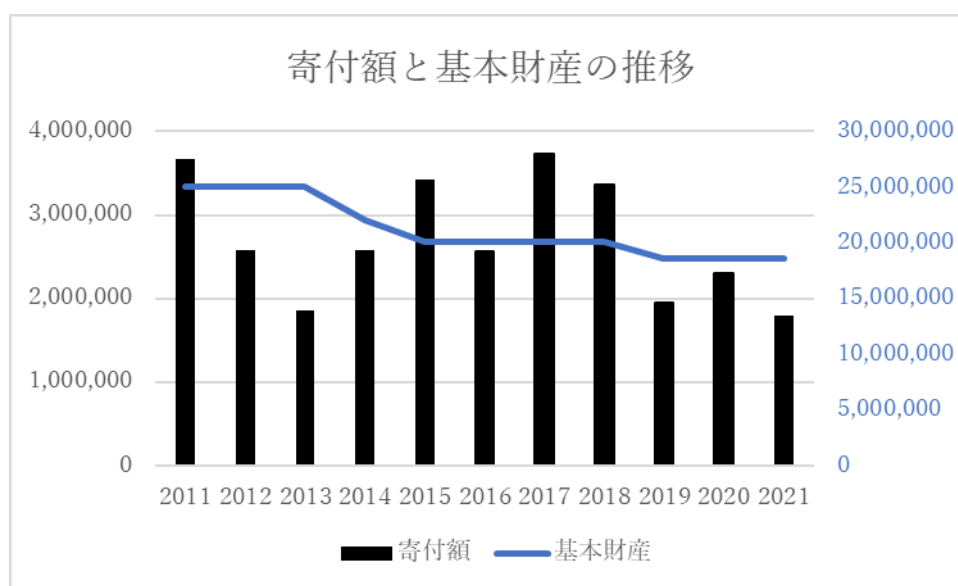
以下のみなさんより寄付金を頂いた。(敬称略・順不同)

中谷 豊	飛田 雄一	中島 秀男
瀬戸口 延恵	大崎 育代	高橋 俊行
井上 由紀子	島田 誠	渥美 公秀
山口 一史	瀧 和男	谷 雅博
木村 暉美	山下 香	三ヶ本 義文
石田 祐	佐々木 妙子	相川 康子
白水 士郎	村井 雅清	木内 玲子
萩原 正五郎	中川 寿子	近藤 マヤ子
堤野 瑛一	東 晃佑	越山 健治
山田 泰子※2	正司 健一※2	福原 初子
富宅 新子※2	沓澤 正明※2	岸野 美奈子※2
小林 見子※2		
(株)フルハウスミル※1	(株)フルハウス技研※1	(有) ボック※1
ヤフー(株)	芦屋西宮市民法律事務所	今津建設(株)
(有)神戸国際マーケット※2	兵遊協福祉基金	(一財) 敬愛まちづくり財団
こうべあいウォーク 2022 実行委員会	オレンジスリフティ自販機募金	
しみん基金・こうべ事務所募金箱	審査会場募金箱	オレンジスリフティ募金箱

総額 ￥1,796,930.-

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、※1 印は寄付つき商品によって、※2 印は現物寄付によってご寄付を頂きました。



イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク 2022 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして、オフラインとオンラインとのハイブリッドで開催した。オンラインではクレジットや銀行振り込み、Tポイントにてご寄付いただいた。

■主催：こうべ・あいウォーク 2022 実行委員会 ((特活) 神戸まちづくり研究所、ふたば学舎、(認定特活) まちコミュニケーション、(認定特活) しみん基金・こうべ)

■協力：近畿労働金庫、生活協同組合コープこうべ

■日時：2022年1月10日(月・祝) 9:30~13:00

■場所：長田区(大国公園、カトリックたかとり教会、鉄人28号、大正筋商店街、ふたば学舎(旧二葉小学校)、丸互市場、本町筋商店街、水笠通公園、御蔵南・北公園など)

■実績：寄付金額/¥163,953.-

ウ) 協働企画寄付システム

① 古着チャリティ事業

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としている。引き続き(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店3店舗に「古着寄付BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄付の増加に努めた。また、毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。

■提携先：(有)神戸国際マーケット 寄付金額：¥349,480.-

② 寄付つき商品

1) 有馬ソルトクッキー

引き続き、神戸洋菓子「ボックス」のご協力により、寄付つきクッキー「有馬ソルトクッキー」(10枚入り、1080円・税込)をボックスの各直営店等にて販売し、その年間売上高の3%が当基金へ寄付された。

■提携先：(有)ボックス 寄付金額：¥12,969.-

2) 耐震補強金具パワープレート

昨年度から、(株)フルハウスのご協力により、古い木造建築物の耐震補強工事で使用する耐震補強金具パワープレートを、直施行した現場施工分の年間売上高の5%が当基金へ寄付された。毎月施主あてにお礼状を発送した。

また市民活動団体からの紹介でフルハウス技研の受注につながった場合、その市民活動恵団体に紹介料が支払われる仕組みづくりを実施する予定だったが、コロナ禍で延期になっている。

■提携先：(株)フルハウスミル・(株)フルハウス技研 寄付総額：¥410,830.-

③ Yahoo ネット募金

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄付できる仕組みに登録している。今年度は3.11の10年でヤフーと共にキャンペーンを実施した。また2022年あいウォークもオンライン開催だったため、ご寄付はこちらのサイトからもいただいた。

■提携先：ヤフー(株) 寄付金額：¥31,370.- (あいウォーク分募金は含まず)

④ 学術書チャリティ

新たにノースブックセンターのご協力により、学術書の買取によりご寄付いただける仕組みに登録した。

■提携先：(株)ノースフィールド 寄付金額：¥33,577.-

⑤ カイトリ

家にある価値はあるけど使わないモノを当基金へ寄付できる買取寄付プログラム「カイトリ」に登録している。

■提携先：(株) シン・ファンドレイジングパートナーズ、寄付金額：¥0

⑥ モノキフ

家で眠ったままになっている大切な思い出の品を、ヤフオクにて販売し、提供者の指定の割合をきふできる仕組みに登録している。

■提携先：(一社) ウルノス 寄付金額：¥0

⑦ その他

1) ろうきん NPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金額：¥12,000

2) 募金箱・自販機募金 協力設置場所：3ヶ所 募金金額：¥62,503.-

3) 印税寄付 「災害看護の本質」による印税寄付 寄付金額：¥1,000

4) Gochiso レストランで食事をすると寄付できるしくみ 寄付金額：¥0

エ) 遺贈寄付

遺贈のご案内

はんしん高齢者くらしの相談室にパンフレット配布を依頼した。

またホームページに遺贈のページを新設した。

3 中間支援事業

ア) 「つなごう神戸」運営事業

市民活動応援サイト「つなごう神戸」は、ボランティアしたい人と NPO や市民活動団体をつなぐとともに、社会貢献をめざす企業が協働先を探すお手伝いをする、マッチングサイトとして、神戸市との協働で運営した。

1) 運営協議会

①委員の構成：

認定 NPO 法人しみん基金・KOBÉ、竹の台地域委員会、株式会社フェリシモ、株式会社キットシステム、大学コンソーシアムひょうご、神戸市企画調整局つなぐラボ、社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

- ②協議会の実施：第 1 回：7 月 9 日（金）15：00～16：30 神戸市役所
第 2 回：11 月 16 日（火）15：30～17：00 KIITO:300
第 3 回：3 月 18 日（金）13：30～15：00 オンライン

2) 実施内容

①サイト管理

問い合わせ日常業務対応
メルマガ発信 97 号～号・SNS 活用
メール不通団体への連絡・処理
行政情報転載

②サイトリニューアル

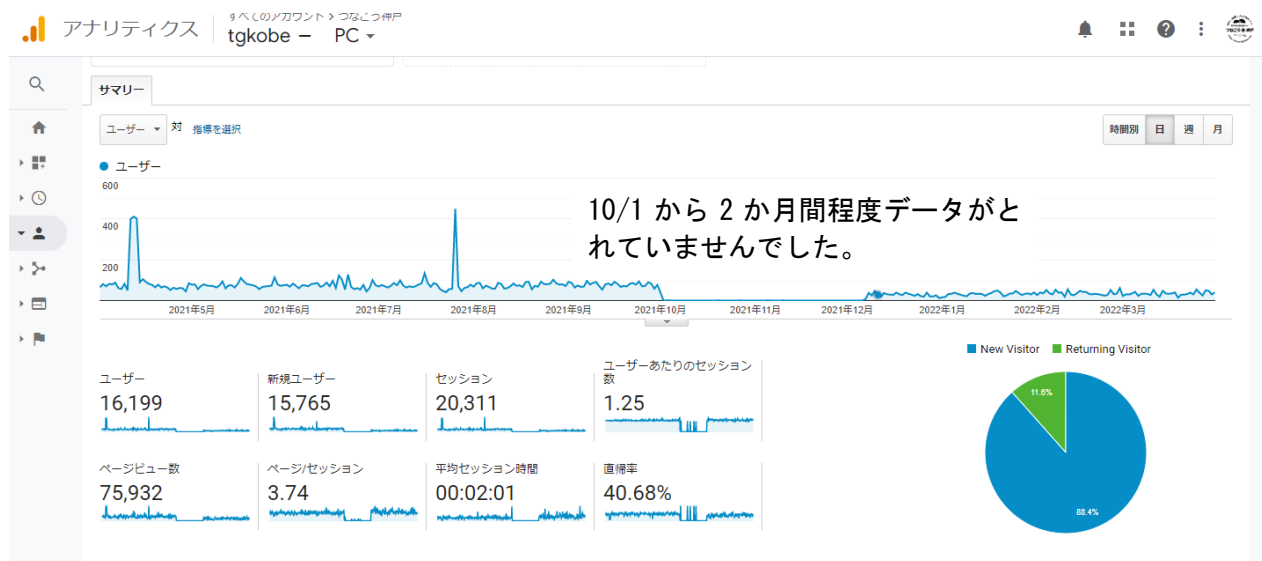
PC 版とスマホ版のレスポンシブデザイン化
マニュアル作成

③協賛金獲得営業活動

④事業自己評価

3) 成果

- ①登録団体数：548 団体（前年度 13 団体増）、登録個人数：422 人（前年度 41 人増）
②つながり数：217 件（10 月 1 日以降分）



イ) 食を通じたつながり支援事業

神戸市こども家庭局こども未来課の事業により、コロナ禍で困窮する子育て世帯に食料を配布した。配布作業に関しては、(一社)神戸フリースクールに依頼した。また神戸市主催の各区の配布団体との情報交換会に出席した。

- ① 配布 日 時：8月8日から9月27日まで毎週日曜 15時半～19時
場 所：中央区ボランティアルーム
申込者数：116世帯
のべ利用者数：1281人
- ② 情報交換会：第1回 9月17日(金) 10:00～12:00
第2回 12月13日(月) 10:00～12:00
第3回 3月16日(水) 10:00～12:00

ウ) KIITO:300 社会貢献事業

新設されたKIITO:300において実施される相談事業や講座事業に関わった。また月1回の運営会議に出席した。

- ①運営会議：4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/14、10/20、11/17、12/15、1/26、2/25、3/16
- ②鼎談：4/21 「社会貢献活動の相談対応がスタート 地域活動、社会活動のコリをほぐします！担当者によるトークセッション」
打ち合わせ 4/14
- ③全体会議：4/20
- ④相談対応：1件 8/12
- ⑤講座：10/31 「地域課題解決+クリエイティブ ミーティング」
3/16 300秒プレゼン交流会

エ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行：3回
 1. 第54号：2021年7月、第55号：2021年12月、第56号：2022年3月
 2. ホームページに掲載
- ② ホームページ、SNS：トップページ、助成事業等の適宜更新
 1. 最新記事を17本掲載。 FB：最新記事を14本掲載
 2. ホームページのSSL化
- ③ メルマガ発行：3回
- ④ 検索サイト Google 広告による広告掲示回数(2021年度)
 1. 表示回数 29,542回 クリック数 2,033回 クリック率 6.88%

オ) NPO 支援活動

- ① 県内助成団体情報交換会
第1回 10月15日(金)14:00
- ② 居場所サミット
日時：8月22日(日) 14:00～17:00
場所：コープこうべ生活文化センター
実行委員会：4/30、5/17、7/19、8/10、9/14、1/24
- ③ 神戸市・中間支援連絡会
日時：1月6日(木) 16:00～18:00
場所：KIITO:300 フェーム

カ) 神戸新聞事業社との連携による防災啓発イベント事業

コロナ禍により、カンパイ KOBE 自体が中止となったため、本事業も中止した。

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

緊急事態宣言下のため、オンラインで実施した。

開催日：2021年5月31日（月）18:00～19:00

開催場所：オンライン

出席会員数：20名（うち委任状提出11名）、正会員数：30名

審議事項：（1）2020年度事業報告並びに決算報告
（2）2021年度事業計画案並びに予算計画案
（3）役員選任について
（4）定款変更について
（5）基本財産取り崩しについて

② 臨時総会

定款変更の不備があったため、再採決となった。

開催日：2021年10月26日（火）18:00～18:05

開催場所：オンライン

出席会員数：19名（うち委任状提出13名）、正会員数：30名

審議事項：（1）定款変更について

③ 理事会

- 2021年5月10日（月） 開催場所：オンライン
審議事項：2021年度定時総会（5/31）に付議する事項の件
- 2021年9月15日（水） 開催場所：オンライン
審議事項：審査会の開催方法、一般枠及び特定枠の書類選考、「黒田裕子賞」の選考、ヒアリングについて、10/26臨時総会の開催
- 2021年10月26日（火） 開催場所：オンライン
審議事項：助成先団体・金額の決定、「しみん基金 KOBE 特別賞」の選考
- 2022年3月1日（火）18:00～19:30 開催場所：オンライン
審議事項：2021年度事業報告、2021年度決算報告、2022年度事業計画、審査員について

④ 監査 2022年 月 日（） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所 監事（敬称略）：森田拓也氏、濱西敏郎氏

⑤ 理事・審査員合同会議

2021年7月12日（月） 開催場所：オンライン

議事内容：助成概要の変更点、公開審査会までのスケジュール、審査基準、ヒアリングシートについて、審査会の開催方法

イ) 管理等

- ①所轄庁への事業報告書提出 6/10
- ②認定法人関係報告書提出 6/10
- ③会員向けに、年賀状・毎月お誕生日カードの送付
- ④正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳	未納者数
個人	29	29		230,000	前受3人含まず 20・21年度分1人	4人

団体	2	2	60,000		
合計	31	31	290,000		

ウ) 運営上の重要事項

① 休眠預金資金分配団体申請の検討

他団体とも連携しながら、来年度の申請について検討した。

② 中央区ボランティアルームの移転予定により、事務所移転について検討した。

③ 5月25日より週2日、新スタッフとして大竹修さんが着任した。

④ NPO 法人ドットジェイピーよりインターンを夏休みと春休みに各々1名ずつ受け入れた。